



## 《将来に向けた取組方針》

当社のマテリアリティ「レスポンスブルケア活動の継続的強化」におけるKPIの1つとして、2021年度までに、本社・工場・研究所が所在する全ての都道府県で生物多様性保全の取り組みを実施する。2022年度以降、その取り組みを維持・強化する。

## 《具体的取組み事例》

### 【日産ビオパーク西本郷】

「水辺と里山林を中心とした生物多様性空間を作り、工場社員や地域の憩いの場とする」を目的に富山工場が2008年10月から運営するビオトープです。

約2ヘクタールの土地に湿地、池、小川、芝生広場、花畑が配置され、近隣住民、工場OB、社員の協力の下、絶滅危惧種であるニホンメダカの繁殖やホタルやカブトムシの育成にも取り組んでいます。

また、近隣保育園の園児によるチューリップの花摘みや球根掘り、小学生による自然観察学習も実施しています。

### 【藤前干潟クリーン大作戦】

名古屋工場では、2016年5月から社員、協力会社の皆さんの賛同を得て、工場の近くに位置し、ラムサール条約登録湿地である藤前干潟で行われているクリーン大作戦（春、秋の2回/年）に参加しています。

本活動は、2004年に「ラムサール条約に恥じない藤前干潟にする」、「子供達が安心して遊べる干潟や川を取り戻す」、「流域全体のゴミや水のことを考えるネットワークを形成する」ことを目的に、4市民団体が行政、企業などと協働して「流域市民・市民団体による」クリーン作戦を行うために、「藤前干潟クリーン大作戦実行委員会」を結成し、開始されました。



富山工場  
【日産ビオパーク西本郷】



名古屋工場  
【藤前干潟クリーン大作戦】

物質科学研究所  
【敷地内の松林の保全】

小野田工場  
【身近な緑の保全・創出、  
水質の保全】

米田工場  
【水質の保全】

宇治工場  
【水質の保全】

津島工場  
【水質の保全】

三浦工場  
【水質の保全】

大津工場  
【水質の保全】

日産化学株式会社

米国  
(Nissan Chemical America)  
【アーモンドバイユー  
自然センター】  
メンバーシップ参加

生物科学研究所  
【黒浜沼周辺の自然を  
大切にする会】支援

袖ヶ浦工場  
【ヒメコマツ系統  
保存サポーター】

